

新型コロナウイルス感染への偏見・差別に関するの校長メッセージ

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、全世界にこれまで経験したことのないような社会不安が生じています。そんな中、日本政府は7都府県に「緊急事態宣言」を発令したり、福島県や須賀川市でも、行政・住民・事業所が一丸となって、感染防止に努めようとしたりして、一日でも早い収束を願っています。私たち須賀川市のすべての小・中学校でも、感染拡大の影響で、子ども達の安全・安心のために、臨時休校の措置をとるなどの厳しい状況に置かれています。

そんな新型コロナウイルスに対する不安が広がる中、現在、SNSを中心として、感染者やその家族、治療にあたっている医療関係者、感染が拡大している地域の人々に対する心ない発言や差別的な書き込みが広がっています。また子どもたちが根拠なくコロナウイルスに関係する差別発言をするなどの事例も挙がっていると指摘があります。

どんな時も、人を傷つける言動は決してあってはならないですし、そのような発言や書き込みを鵜呑みにして、拡散したりすることは、不安をさらに広げるだけで問題の解決にはまったくつながりません。私たちは、間違った情報に惑わされないよう、落ち着いた行動をとらなければなりません。

ましてや、私たちは9年前に、東日本大震災や原発事故により、偏見や差別、いじめを受け、さらには風評被害で悲しく苦しい立場に置かれた経験をしました。そんな私たちだからこそ、偏見や差別、いじめのない世の中・社会を作らなければならないと思っています。

生徒の皆さん、もしストレスを感じたり、心が傷ついたりしたときは、ひとりで悩まず、すぐに家族や友人、先生、スクールカウンセラーなど、信頼できる人に相談しましょう。直接相談しにくいときは、話を聞いてくれる電話相談などの相談窓口も利用できます。

また、あなたの周りで不安な気持ちを抱えている人を見かけたり、困っていたりしている人がいたら、優しく声をかけるなど、みんなで一緒に支えてあげてください。

学校でも、不安になっている生徒への心のケアやストレス解消の機会を設けたり、学校教育全体を通じて道徳教育を行ったりするとともに、正しい情報の扱い方などの情報リテラシーを指導していきたいと思えます。

私たちの第一中学校では、すべての人の人権を尊重し、いじめのない学校にしていきましょう。そして、だれもが安心して過ごせる学校を作りましょう。

やるべきこと

- ・ 悩んでいる人、困っている人を支えよう
- ・ 一人で悩まず相談しよう
- ・ 自分も他人も大切にしよう

してはいけないこと

- ・ 人を傷つける言動はしない
- ・ 不確定な情報を拡散しない
- ・ 間違った情報に惑わされない

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症について、誤った情報による感染者、医療関係者、感染が拡大している地域の人たちに対する差別やいじめ等が報道されています。不確かな情報に惑わされ、人権侵害につながることはないよう、国や地方公共団体などが発信する正しい情報を入手するように努めていただき、ご家庭でお子さんと正しい情報と知識の理解の仕方や、偏見や差別、いじめをしない行動等についてお話し合ってください。

また、お子さんのささいな変化に気づき、いじめに関わる心配等がある場合には、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関等との連携をとるよう努めてください。

令和2年4月13日

須賀川市立第一中学校長 八木沼 孝夫